

令和4年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市ふれあいセンター広丘		
所在地	塩尻市大字広丘堅石2150番地1		
指定管理者名	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間のうち3年目）		
募集方法	公募	施設担当課	健康福祉事業部 福祉課

1 業務実績（指定管理者）

当初計画	実績
【コミュニティソーシャルワーカーの設置】	【コミュニティソーシャルワーカーの設置】
1 総合相談事業 ・相談件数 (530件)	1 総合相談事業 ・相談件数 (700件) 福祉相談 297件 ボランティア相談 32件 有償福祉サービス 203件 福祉学習 61件 地域支援 94件 健康相談 4,384件 介護相談 13件 ・相談形式 電話 322件 訪問 142件 来所 163件 会議 73件 （来所件数に健康相談は含まない）
【北部圏域の地域福祉活動の推進】	【北部圏域の地域福祉活動の推進】
1 支え合い講座・出前講座 ・担い手の育成講座 3回 60人 ・出張型地域福祉講座 4回 60人	1 支え合い講座・出前講座 ・担い手の育成講座 3回 60人 ・有償サービスサポーター、地域住民向けステップアップ講座 2回 23人 ・出張型地域福祉講座 4回 44人 （高出公民館、広丘公民館）
2 ふれあいセンター広丘まつり 1回	2 ふれあいセンター広丘まつり ふれあいの集いin広丘 1回 72人
3 社協支部分会や関係団体等との連携	3 社協支部分会や関係団体等との連携 地域ケア会議等参加 2地区 5回 支部総会 3地区 1回 支部福祉懇談会 3地区 1回 市民活動団体への協力 2団体 2回
4 福祉学習の支援 ・住民等と協力し、福祉に関する啓発講座開催 ・学校での福祉学習への協力	4 福祉学習の支援 ・公民館事業への協力（原新田） 1回 ・広陵中学校、丘中学校、片丘小学校 19回
5 災害対策事業	5 災害対策事業 高出5区地区防災訓練参加 1地区 1回 防災に関するコーナー設置 1回

【介護予防・認知症予防の推進】	【介護予防・認知症予防の推進】
<p>1 介護予防・認知症予防講座 (1) 介護予防・認知症予防講演会の開催 4回 50人/回</p> <p>(2) 機能訓練室の運営 ・健康運動教室 全4期(10人×3教室×4期) 延1,400人</p> <p>2 認知症サポートセンター ・認知症介護相談 24回 ・オレンジカフェ開催 24回 ・認知症サポーター養成講座 15回 ・認知症地域支援推進員会議 6回</p>	<p>1 介護予防・認知症予防講座 (1) 介護予防・認知症予防講演会の開催 介護予防講座 2回 32人 認知症予防講座 2回 72人</p> <p>(2) 機能訓練室の運営 ・健康運動教室 全4期(10人×3教室×4期) 延参加人数 1,126人</p> <p>2 認知症サポートセンター ・認知症介護相談 24回 22件 ・オレンジカフェ開催 24回 235人 ・認知症サポーター養成講座 13回 68人 ・認知症ステップアップ講座 2回 17人 ・認知症地域支援推進員会議 6回 ・チームオレンジ準備会 1回 ・アルツハイマー月間に啓発活動への取り組み 1回</p>
【地域福祉ネットワークづくり】	【地域福祉ネットワークづくり】
<p>1 北部圏域福祉ネットワーク構築</p> <p>2 有償サービス事業の実施 ・有償福祉サービスの拡充</p> <p>・活動者の育成 3回</p>	<p>1 北部圏域福祉ネットワーク構築 地域ケア会議等参加 2地区 5回 民児協地区会への参加 4地区 10回 高出5区福祉推進員・民生委員打合せ 1回 高出5区地区防災訓練参加 1回 南内田地区防災訓練参加 1回 高出2区支え合い事業特別委員会 3回 片丘地域づくり協議会 1回 堅石分会高齢者の居場所作り開催検討委員会 1回 交通課題プロジェクト 5回 生活支援コーディネーター会議 3回</p> <p>2 有償サービス事業の実施 ・有償福祉サービスの拡充 (北部圏域) サービス提供回数 96回 活動時間 167時間 新規相談 23件 利用者新規登録 12件 サポーター新規登録 2人 (全市) 利用者登録人数 102人 サポーター登録人数 58人 ・他地区(他団体)との意見交換 2回 (松本市島立地区、片丘お助けネット) ・活動者の育成 養成講座 2回 20人 サポーター事業説明会・連絡会 2回 24人</p>
【世代間交流事業】	【世代間交流事業】
<p>1 ふれあいセンター広丘地区交流事業</p> <p>2 図書コーナーの利用</p>	<p>1 ふれあいセンター広丘地区交流事業 ふれあいの集いin広丘 1回 72人 ふれあい食堂 2回 17人</p> <p>2 図書コーナーの利用 貸出 76冊</p>

【利用者の福祉の増進】	【利用者の福祉の増進】
1 北部圏域の講座の開催 高齢者の生きがいと健康づくり講座 (1) 生きがい講座 (地区講座) 72回 (6地区各12回)	1 北部圏域の講座の開催 高齢者の生きがいと健康づくり講座 (1) 生きがい講座 (地区講座) 広丘・野村・片丘・郷原堅石・原新田・吉田地区 72回 686人
(2) 介護予防講座 5講座 各12回	(2) 介護予防講座 背骨コンディショニング講座 12回 159人 3B体操講座 11回 162人 銭太鼓講座 11回 233人 音楽で元気講座 12回 139人 クラフトバンド手芸講座 12回 104人
2 団体利用の会場提供	2 団体利用の会場提供 地区、社協支部分会、関係福祉団体、 ボランティア団体、関係福祉団体等 団体 5,802人
3 バス運行業務	3 バス運行業務 講座92回 団体23回 115件
4 利用者からの意見聴取の実施	4 利用者からの意見聴取の実施 利用者アンケート (一般利用者、講座受講者、団体利用者) 年 1回 社会福祉協議会苦情解決に関する委員会 年 1回 ご意見箱の設置 3件
5 入浴無料の日 毎月26日 12回	5 入浴無料の日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
【喫茶・食堂の運営】	【喫茶・食堂の運営】
(1) 憩いの場・食事の提供 営業時間11時30分～13時30分 休館日を除く火曜日～日曜日	(1) 憩いの場・食事の提供 営業時間11時30分～13時30分 休館日を除く火曜日～日曜日 販売食数 5,528食 ふれあい食堂 2回 17人
(2) 障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供	(2) 障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供 ホール業務を就労支援事業所みどりが丘に委託
(3) 障害者就労支援事業所製品販売協力	(3) 障害者就労支援事業所製品販売協力 4事業所の製品を常設
【施設維持管理】	【施設維持管理】
1 管理保守点検等業務 ・建築物保守管理業務 1回/週 受電設備点検業務 1回/2月 消防用設備点検業務 2回 (4,12月) 1回 (12月) エアコン保守点検業務 2回 (6,3月) 自動ドア保守点検業務 3回 (7,11,3月) ボイラー保守点検業務 2回 (10,3月) 自主点検管理 1回/週 ろ過装置保守点検業務 2回 (7,3月) 自主点検管理 1回/週 ・備品等保守管理業務	1 管理保守点検等業務 ・建築物保守管理業務 職員による目視での点検 1回/週 受電設備点検業務 1回/2月 消防設備点検業務 2回 (6,11月) 防火対象物点検業務 1回 (11月) エアコン保守点検業務 2回 (10,3月) 自動ドア保守点検業務 3回 (7,11,3月) ボイラー保守点検業務 2回 (10,3月) 自主点検管理 1回/週 ろ過装置保守点検業務 2回 (10,3月) 自主点検管理 1回/週 ・備品等保守管理業務 マイクロバス定期点検 車検、法定点検

<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃業務 2回/月 6日/週 ・ 植栽等維持管理業務 随時 ・ 環境衛生管理業務 1回 (3月) ヘアキャッチャー清掃(職員) 毎日 浴槽水質検査(専門業者) 2回 (8, 2月) 浴槽水質(残留塩素)測定 4回/日 ネズミ、害虫駆除 2回 (7, 1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃業務 専門業者による清掃 2回/月 日常清掃 6日/週 ・ 植栽等維持管理業務 庭清掃、剪定、下草刈り(職員) 随時 ・ 循環用配管清掃 1回 (3月) ヘアキャッチャー清掃(職員) 毎日 浴槽水質検査(専門業者) 2回 (9, 3月) 浴槽水質(残留塩素)測定 4回/日 ネズミ、害虫駆除 2回 (7, 1月) ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1日4回程度館内び備品等の定期的な消毒を実施。また時間ごとの換気、入館時の検温、手指消毒等への協力を呼びかけ実施。
2 修繕業務	2 修繕業務 適宜市担当課に連絡、実施
3 警備業務	3 警備業務 警備会社に委託
4 除雪業務	4 除雪業務 職員により実施
5 集金業務	5 集金業務 入浴料は券売機にて精算
【防犯、防災、緊急時の対応】	【防犯、防災、緊急時の対応】
・ 消防計画により訓練実施 2回 (10, 3月)	・ 消防計画により訓練実施 2回 (12, 3月)
【職員研修】	【職員研修】
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会職員研修 管理職研修 1人 交通安全研修 16人 発展・強化推進研修 3人 ・ 職場外研修 重層的支援体制整備事業自治体向セミナー 1人 キャラバンメイト養成研修 2人 認知症地域支援推進員研修 1人 ・ 強化研修 安全運転管理者研修 1人 セルフケアのすすめ 1人 AED・救急法講習 10人

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	300日	300日	301日	99.7%
施設利用者数(全体)	34,100人	33,758人	33,198人	101.7%
施設利用者数(団体)	34,100人	8,655人	7,288人	118.8%
施設利用者数(個人)		25,103人	25,910人	96.9%
入浴者数	19,800人	21,181人	21,717人	97.5%
入浴券売上	5,197,000円	5,452,200円	5,636,000円	96.7%
健康相談	3,300人	4,384人	4,652人	94.2%
福祉相談	570人	700人	623人	112.4%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティソーシャルワーカーを2人体制とし、支援体制を充実した。その結果、相談件数が増加し、福祉学習への支援、地域へ出向いての支援件数等が増加した。 ・感染症予防対策を継続しながら、利用者には安心して利用していただけるよう努め、総利用者数は昨年度比101.7%、利用目標人数に対し99.0%となった。 ・生きがい講座、健康運動教室等講座では積極的にチラシを配布するなどして新規利用者が徐々に増えている。 ・入浴券の売り上げでは目標値は超えたが昨年度比96.7%と減少した。
施設担当の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉拠点、地域の総合相談窓口として地域福祉の課題抽出、解決をCSW中心に行い、相談件数等が増え、利用者の心のよりどころとして活躍いただいた。 ・講座の開催方法について、SNS等も活用し、幅広い世代の方へ発信するように検討してもらいたい。また、講座の内容等について関係機関と共有し、内容の精査をし、ふれあいセンター広丘ならではの講座の検討をしてもらいたい。 ・認知症の講座では若年層にも参加してもらえるような周知方法の検討をしてもらいたい。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

	項目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料収入	39,570,000	40,186,000	39,570,000	101.6%
	・ 参加費収入	50,000	600	0	皆増
	・ 利用料収入	5,636,000	5,452,700	5,636,000	96.7%
	・ 雑収入	212,000	130,616	212,295	61.5%
	・ 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0.0%
	収入計 (A)	45,468,000	45,769,916	45,418,295	100.8%
支 出	・ 人件費	24,351,000	22,276,651	23,002,632	96.8%
	・ 保健衛生費	176,000	179,252	175,407	102.2%
	・ 教養娯楽費	68,000	25,300	27,600	91.7%
	・ 水道光熱費	5,558,000	5,959,155	5,556,896	107.2%
	・ 燃料費	3,602,000	3,874,750	3,554,100	109.0%
	・ 消耗器具備品費	716,000	404,053	536,245	75.3%
	・ 保険料	369,000	321,100	364,395	88.1%
	・ 賃借料	234,000	167,640	233,640	71.8%
	・ 車輛費	166,000	346,900	98,979	350.5%
	・ 職員被服費	22,000	21,411	22,000	97.3%
	・ 諸謝金	1,523,000	1,438,350	1,339,400	107.4%
	・ 旅費交通費	10,000	0	0	0.0%
	・ 研修研究費	53,000	4,920	4,500	109.3%
	・ 事務消耗品費	173,000	33,748	99,799	33.8%
	・ 印刷製本費	7,000	32,890	0	皆増
	・ 修繕費	668,000	550,990	666,820	82.6%
	・ 通信運搬費	358,000	319,379	357,281	89.4%
	・ 会議費	31,000	1,526	2,211	69.0%
	・ 業務委託費	2,939,000	2,988,280	2,937,940	101.7%
	・ 手数料	39,000	46,310	36,672	126.3%
	・ 保険料 (火災)	27,000	9,896	9,896	100.0%
	・ 賃借料	259,000	185,181	186,988	99.0%
	・ 土地・建物賃借料	149,000	138,240	148,992	92.8%
	・ 租税公課	3,000	1,600	1,800	88.9%
	・ 保守料	1,567,000	1,566,400	1,566,400	100.0%
	・ 諸会費	16,000	16,000	16,000	100.0%
	・ 雑支出 (退職年金事務費等)	40,000	45,099	33,300	135.4%
・ 退職手当、年金共済掛け金	866,000	1,152,270	865,707	133.1%	
支出計 (B)	43,990,000	42,107,291	41,845,600	100.6%	
	収支 (A) - (B)	1,478,000	3,662,625	3,572,695	
	・ 事務諸経費		3,662,625	3,572,695	102.5%

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	84.1%	84.6%
負債比率（（流動負債+固定負債）/資本×100）	18.9%	18.2%
固定比率（固定資産/資本×100）	92.8%	95.3%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	562.5%	506.4%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	1.2%	1.6%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績（2023年3月現在）
所長 1名（常勤） コミュニティソーシャルワーカー 1名（常勤） 支援員（常勤） 看護師 運転手 受付業務員 調理員 認知症地域支援推進員 防火管理者 安全運転管理者 衛生推進員 食品衛生管理者 （いずれかの職種が兼務）	所長 1名（常勤） コミュニティソーシャルワーカー 2名（常勤） 支援員 2名（非常勤2） 看護師 5名 運転手 4名 受付業務員 6名 調理員 4名 認知症地域支援推進員 1名 防火管理者 1名 安全運転管理者 1名 衛生推進員 1名 食品衛生管理者 1名 （いずれかの職種が兼務）

ふれあいセンター広丘

所 長

指導員（CSW）	2名
支援員	2名
受付業務員	6名
看護師	5名
運転業務員	4名
調理員	4名

7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
ふれあいセンター広丘まつり	ふれあいの集いin広丘（10月） 72人
アンケート調査 1回/年	アンケート調査 講座参加者 各 1回 団体、個人利用者 各 1回
苦情解決に関する委員会	苦情解決に関する委員会 1回
すみれ食堂 就労支援事業所生産品等販売	就労支援事業所4事業所の生産品常設販売、季節の地元野菜を販売

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。
例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。
評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
(1) 評価点合計 (16項目)			49					48				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			24					24				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができていますか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	(3) 評価点合計 (16項目)			51					51			

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点164点)	指定管理者	124点	75.6%	施設担当課	123点	75.0%
----------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8 (総括) 評価に対する考え方 (指定管理者、施設担当課)

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	5	ふれあいセンターのBCP計画を社会福祉協議会プロジェクトにて検討し作成中。また緊急時に備えAED・救急法の研修を実施。	2	ふれあいセンターの設置目的、地域への認知度の向上に、一層努めてほしい。
	7	北部圏域の地域福祉を推進するため、コミュニティソーシャルワーカーを2人体制とした。	7	コミュニティソーシャルワーカーの2人体制を強みとしていただきたい。
	9	利用者の理解とよりよい対応の実施、感染症に関する正しい理解等を目的に毎月職員会にて内部研修を実施した。	9	内部研修については、テーマを決めて定期的に開催して行ってほしい。
(2) 収支等の評価	17	法人の会計規則に則り、適正に管理している。	17	適正な予算進行に努めたことを確認した。
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行した。大幅な電気代等の値上げがあり予算不足となったが市に報告、相談する中で対処した。	19	収支計画書に則し、適正に予算執行したことを確認した。
	20	複数職員で確認し、適切に管理している。	20	利用料収入などの現金管理等について、適切なチェック体制が構築されている。
(3) サービス等の内容や水準	28	アンケート、また日々の意見をいただく中で可能な対応を行った。(子供用の入浴チェア購入、シャワーヘッドの交換等)	28 29	利用者からの意見、要望に対し、迅速に対応している。
	33	施設の利用者を広げ、活動の場、居場所の一つとなるようふれあい食堂を実施した。	33	幅広い世代の利用促進や居場所としてふれあい食堂もPRしてほしい。
	34	幅広い世代に事業等の周知を図るためSNSを利用した発信を始めた。(インスタグラム、ツイッター)	34	SNSを活用して情報発信し、幅広い世代の利用促進に努めているが、施設予約についても電話以外での方法も検討してほしい。
	37	必要事項について随時市に報告し、速やかに対応をしている。(ペレット燃え殻の処理、水漏れ等実施)	37	情報共有を密に行い、計画的な施設運営に努めたことを確認した。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を実施し、安心して利用していただくよう努める中で、地域活動の再開も進み団体利用者が増加した。逆に個人利用（入浴）は混雑を避ける傾向があり昨年実績より減少した。地区講座など休止しているうちに病気等で退会となる利用者も複数見られ一時は参加者の減少が目立ったが、他の講座を含め、チラシの積極的な配布等により新規利用者を増やしながらか実施できた。 ・コミュニティソーシャルワーカーを2人体制にすることで相談件数だけでなく、お互いがすぐに相談できるという効果が大きかった。 ・子育て世代の団体利用をきっかけに利用が広がってきているが、設備等さらに充実したい点の指摘をいただく機会となっている。 ・高出5区の防災訓練に参加し、災害時には地区とセンターの協力体制が必要となることを確認できた。 <p>■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく始めたSNSの利用、ふれあい食堂などの居場所作りをさらに充実し、幅広い利用者の獲得と相談窓口としての周知を進める。 ・子育て世代が使いやすい施設となるよう設備について市と協議する。 ・地区や企業等と連携して訓練や研修を実施し災害時に備える。 <p>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後計画されているコミュニティソーシャルワーカーの配置変更を含めた地域福祉の推進のための組織・事業等の見直し、ふれあいセンター機能の充実を図る。 ・介護予防事業の見直しを関係機関と行い、内容の精査と取り組みを進める。
施設担当課	<p>仕様書及び実施計画に沿い、概ね良好に管理運営が行われている。利用者の声に迅速に対応するなど、施設の適切な運営に努めている。コミュニティソーシャルワーカーを設置している効果を見える化するとともに、個別支援、地域支援をより一層進めていただきたい。</p> <p>ふれあいセンターで実施している事業の効果を検証するなど、PDCAのマネジメントサイクルにより、事業の方向性を検討していただきたい。併せて、ふれあいセンターの目的、認知度の向上に努めていただきたい。また、施設の予約方法について、電話だけでなく、HPからアクセスできるような環境整備に努めていただきたい。</p>